

IBM Digital Analytics

本「サービス記述書」は IBM がお客様に提供する「クラウド・サービス」について規定するものです。お客様とは、契約を結ぶ当事者、その許可ユーザーおよび「クラウド・サービス」の受領者を意味します。適用される「見積書」および「証書 (PoE)」は、別途「取引文書」として提供されます。

1. クラウド・サービス

1.1 IBM Digital Analytics

IBM Digital Analytics は、お客様が自身の Web サイトの訪問者による対話を追跡し、収集されたデータに基づいてレポートおよび主要業績評価指標 (KPI) を提供することを可能にするソリューションです。データは「サーバー・コール」を介して「クラウド・サービス」のために収集されます。「サーバー・コール」とは、1つの「クライアント ID」で追跡対象の訪問者によって開始されたタグ付きイベントの結果として、「クラウド・サービス」に渡され、「クラウド・サービス」によって処理されるデータをいいます。このタグ付きデータは、その後サービスによって処理され、「クラウド・サービス」のユーザー・インターフェースを介して利用可能となるレポートを生成します。このレポートは訪問者の行動を理解するのに役立ちます。より深い洞察が提供されるように、ユーザー・インターフェースを介してカスタム仕様のビューおよびレポートを作成することができます。「クラウド・サービス」の基本パッケージには、以下が含まれます。

- a. 以下の 5 つの異なる業種に合わせて作成できるレポート・セット。コンテンツ業、コンテンツ/コマース業、金融サービス業、旅行業、または小売業。これらのレポートをさらにカスタマイズして、デフォルトのレポート表示から変更して表示することができます。また、お客様は、ダッシュボードのモニタリングによりメトリックをほぼリアルタイムで閲覧する機能に加えて、カスタマイズ可能な訪問者のセグメントをエクスポートすることができます。
- b. 収集されたデジタル分析データに照らして、新規のレポートを作成する機能をお客様に提供するアドホック・レポート作成ツール。
- c. IBM の評価に基づき、Web 分析のニーズを満たすために、適切な数の「クライアント ID」がお客様に提供されます。
 - その「取引文書」で「DOMHQLL」と指定されている IBM Digital Analytics サブスクリプションをサブスクライブしているお客様の場合、これには 1 から 50 の「クライアント ID」が含まれます。50 の「クライアント ID」を個々の独立した ID にすることができます。または、マルチサイト環境では、50 の「クライアント ID」をグローバルな親 ID および子 ID の組み合わせにすることができます (この場合、子 ID を親 ID にロールアップして集約レポートを作成します)。50 を超える追加の「クライアント ID」は、追加料金の対象となります。スタンダードからマルチサイト環境への変更を要求する場合には、その後の新規データで初めからやり直すことができます。
- d. 「クライアント ID」ごとに、10 の永続的なレポート・セグメントおよび 10 の 1 回限りのレポート・セグメント。
- e. 「クライアント ID」ごとに、4 つのバックワード・マーケティング属性ウィンドウ。お客様は、3 つのウィンドウの設定 (ウィンドウ期間および属性論理) を調整することができますが、1 つは、期間を 1 日とするラストクリック属性論理に固定されています。
- f. 25 の TruePath ファネル。お客様の必要数に関する IBM の評価に基づき、「クライアント ID」ごとに合計 50 を限度に、適切な数の追加「TruePath ファネル」がお客様に提供されます。
- g. 「クライアント ID」ごとの IBM Digital Analytics Benchmark
- h. 「クライアント ID」ごとの IBM Digital Analytics Digital Data Exchange
- i. 「クライアント ID」ごとの IBM Digital Analytics Monitor
- j. IBM Digital Analytics Dashboard

- k. IBM Digital Analytics Import、標準的なデータ・インポート・モジュール (Category Definition File、Enterprise Products Report および Forecast Metrics) 付き
- l. 「クライアント ID」ごとの IBM Digital Analytics Export
- m. 「クライアント ID」ごとの IBM Digital Analytics Multi-Byte Character Support 移行料金が適用される場合があります。
- n. IBM Digital Analytics Explore Live Reports で有効化されている最大 1 つの「クライアント ID」。要求に応じて、これは Digital Data Exchange API に含まれます。
- o. 保存された「クライアント ID」ごとの「セッション・アクティビティ・データ」には、ベスト・プラクティス・レポートの「訪問者」のセッションに関する明細レコード (タイム・スタンプ、カテゴリ、および「訪問者」がセッション中に閲覧したすべてのページのページ ID を含みます。) が含まれ、これが削除された後 13 週間、保管されます。このデータのロールオフは、ロールオフが行われた期間についての「ワнтаイト・レポート・セグメント」、「クリック・ストリーム」、「TruePath」、「インバウンド・リンク分析」および「オンサイト・リンク分析」に関するレポートを含む、「セットアップ」レポート (ユーザーの構成設定および開始を要求するレポート) に影響を与えます。
- p. 保存された「クライアント ID」ごとの「LIVEview レポート・データ」には、ユーザーが選択した期間についての LIVEview クリック・オーバーレイ・レポートおよびこのデータが使用されるその他の場所に、結果をレンダリングするために使用されるデータ (レポートのダウンロード、エクスポートおよび「ページ・ズーム」に関するレポートが含まれます。) が含まれ、これが削除された後 13 週間、保管されます。
- q. 保存された「クライアント ID」ごとの「訪問者アクティビティ・データ」には、「訪問者」の履歴 (ベスト・プラクティス・レポートのページ、製品、マーケティング活動、注文、およびその他「訪問者」に関連する選ばれた活動。) が含まれ、これが削除された後 13 か月間、保管されます。このデータのロールオフは、ロールオフが行われた期間の「プロフィール・セグメント」分析を含む、「セットアップ」レポートに影響を与えます。
- r. 保存された「クライアント ID」ごとの「LIVE プロファイル・データ」には、「クラウド・サービス」期間中の訪問者のプロフィール属性 (電子メール・アドレス、性別、年齢、および学歴などの訪問者の登録データ、ならびに初回訪問の日付、累積支払額、および当初の照会元などの訪問者の主要なマイルストーンを含みます。) が含まれます。
- s. 保存された「クライアント ID」ごとの「標準レポート・データ」には、毎日夜間に「クラウド・サービス」が自動的に処理するベスト・プラクティスのレポートおよびダッシュボードが含まれ、お客様がセットアップすることなく 27 か月間提供されます。このレポートのロールオフはまた、カスタム・レポート・ビューにも影響を与えます。注: 「トップライン・メトリック」のデータおよび「トップライン」メトリックに適用されるレポート・セグメントは、27 か月間保存される「米国セッション (%)」、「エレメント表示」、「セッション当たりのエレメント表示」の各メトリックを除き、サブスクリプション期間中、保持されます。
- t. 保存された「クライアント ID」ごとの「Explore セッション・アクティビティ・データ」には、「訪問者」のセッションに関する明細レコード (タイム・スタンプ、カテゴリ、および「訪問者」がセッション中に閲覧したすべてのページのページ ID を含みます。) が含まれます。「クラウド・サービス」では、お客様の「Explore セッション・アクティビティ・データ」は 27 か月間、保存されます。この期間が過ぎると、「Explore セッション・アクティビティ・データ」は削除されます。このデータ・ロールオフは、Explore レポート処理のベースとなる履歴の日付範囲に影響します。
- u. 保存された「クライアント ID」ごとの「Explore レポート・データ」には、「クラウド・サービス」が処理する Explore の標準レポートおよび指定されたアドホック・レポートおよびダッシュボードが含まれます。「クラウド・サービス」では、お客様の「Explore レポート」は 27 か月間、保存されます。

1.2 オプション機能

1.2.1 IBM Digital Analytics Impression Attribution

お客様が、マーケティング・インプレッション (例えば、ディスプレイ・バナー広告、ウィジェット、広く公開されるビデオ、マイクロサイトなど) がどのように Web サイトでのコンバージョンに影響を与えるかを理解できるように、お客様の Web サイト以外で訪問者によるコンテンツ閲覧を追跡することのできるソリューションです。

1.2.2 IBM Digital Analytics Lifecycle

お客様が、長期間にわたって、サイト訪問者が主要なサイト・エンゲージメントのマイルストーンに到達したか否かを評価するレポートを実行できるソリューションです。

1.2.3 IBM LIVEmail

お客様が、訪問者のセグメントを作成し、ターゲット層を定めた電子メール・キャンペーンを実行するために、認定された電子メール・サービス・プロバイダー (以下「ESP」といいます。) のリストにそれらのセグメントをプッシュすることができるソリューションです。

1.2.4 IBM Digital Analytics Digital Data Feed

お客様が、「クラウド・サービス」で利用可能なお客様の未加工のデータを含む、毎日のデータ・エクスポートを直接指定しスケジュール設定できるように、データ・フィード構成とアクティベーション・モジュールを、お客様に提供するソリューションです。

1.2.5 IBM Digital Analytics Multichannel

本サービスでは、以下の3つの、追加的なデータ・インポート・ソリューションが提供されます。

- Multichannel Import
- Visitor Registration Fields Import
- Data Extensions Import

「クライアント ID」ごとに付与される Data Extensions のインポート数は、お客様の「取引文書」に記載されます。

1.2.6 IBM Digital Analytics Digital Data Feed サービス

本サービスでは、IBM Digital Analytics Export アプリケーション内に配置される、データ・フィード設定および起動モジュールが提供されます。本サービスによりお客様は、「クラウド・サービス」で利用可能なお客様の未加工のデータを含む、毎日のデータ・エクスポートを直接指定し、スケジュール設定できるようになります。データ・エクスポートの成果物は、前日の各「訪問者」のページ閲覧、製品閲覧、ショッピング、注文、登録、およびその他追跡された行動に関する詳細な情報を含む所定のフォーマットによる、複数のファイル (IBM Digital Analytics Export のユーザー・インターフェースでお客様が選択) で構成されます。

1.2.7 IBM Digital Analytics Retention Extension

Retention Extension では、以下の延長期間中、特定の保存されたデータ要素を保持するオプションがお客様に提供されます。

- 「セッション・アクティビティ・データ」保持期間の 12 週間の延長
- 「訪問者アクティビティ・データ」保持期間の 12 か月の延長
- 「標準レポート・データ」保持期間の 12 か月の延長

1.2.8 IBM Digital Analytics Explore Retention Extension

Explore Retention Extension では、以下の延長期間中、特定の保存されたデータ要素を保持するオプションがお客様に提供されます。

- IBM Digital Analytics Explore または IBM Explore (いずれか該当するもの) のデータ保持期間の 12 か月延長。

- IBM Digital Analytics Explore または IBM Explore (いずれか該当するもの) のレポート保持期間の 12 か月延長。

1.2.9 IBM Digital Analytics Additional Marketing Attribution Windows

Additional Marketing Attribution Windows では、「クラウド・サービス」に含まれる既定量を超えて、一定数の追加的な遡及的マーケティング属性ウィンドウを使用する資格が、お客様に付与されます。マーケティング属性ウィンドウの追加加入数量は、各「クライアント ID」ごとではなく、合計数で決定されます。複数の「クライアント ID」に提供されるマーケティング属性ウィンドウは、1 資格に対して、複数の属性ウィンドウとみなされます。

1.3 IBM Digital Analytics Additional Report Segments

Additional Report Segments では、「クラウド・サービス」に含まれた既定量を超えて、一定数の追加的な無期限かつワンタイムのレポート・セグメントを使用する資格が、お客様に付与されます。レポート・セグメントの追加加入数量は、各「クライアント ID」について使用することができます。10 の追加レポート・セグメントではそれぞれ、各「クライアント ID」に対して、10 の無期限レポート・セグメント、および 20 のワンタイム・レポート・セグメントが提供されます。

1.3.1 IBM Digital Analytics Explore Unrestricted Reports

Explore Unrestricted Reports は、IBM Digital Analytics のサブスクリプションで許可される「Explore レポート」の数量を拡張して、お客様が毎月、無制限の数の Explore レポートを使用できるようにします。

1.4 セットアップ・サービス

1.4.1 IBM Digital Analytics One-Time Setup

このセットアップ・サービスには、お客様の当初の「クライアント ID」に対する、導入およびオンボーディングに関するリモート・サービスが 40 時間を限度に含まれます。お客様が 40 時間の全てを使用したか否かに関わらず、サービスは、お客様による「クラウド・サービス」へのアクセスが可能になった旨を IBM が通知した日から 90 日後に満了となります。

1.4.2 IBM Digital Analytics Additional Client ID Implementation Entity ID On-Demand Setup

このサービスでは、IBM Digital Analytics One-Time Setup によって提供される「エンティティ ID」の初回の導入を越える「エンティティ ID」の追加について、それぞれ 8 時間を限度に導入サービスを提供します。

1.5 リモートで提供されるサービス

1.5.1 IBM Digital Analytics Consulting Services

お客様が推進する分析目的のためのリモート・コンサルティング時間を 20 時間を限度に提供します。分析の種類は、お客様と IBM アナリストの間で協議して定義します。分析は、IBM アナリストが実行可能と判断できるものである必要があります。サービスは、「エンゲージメント」ごとに購入されるものとし、すべての時間数が使用されたか否かに関わらず、購入日または「クラウド・サービス」へのアクセスが可能になった旨をお客様が IBM から通知された日のいずれか遅い日から 90 日後に終了します。

1.5.2 IBM Digital Analytics Managed Implementation Services

お客様のタグ付け要件及び JavaScript ファイルを保持するための文書に対応するために、カスタム・グローバル JavaScript ファイルを配信して、1 つの Web ドメインに対して、高速化されたベースライン・データ収集を 50 時間を限度に提供します。サービスは、「エンゲージメント」ごとに購入されるものとし、すべての時間数が使用されたか否かに関わらず、購入日または「クラウド・サービス」へのアクセスが可能になった旨をお客様が IBM から通知された日のいずれか遅い日から 90 日後に終了します。

2. コンテンツおよびデータ保護

「データ処理およびデータ保護に関するデータ・シート」(「データ・シート」)には、処理対象の「コンテンツ」の種類、発生する処理活動、データ保護機能、および「コンテンツ」の保存および返却に関する仕様書に関する、「クラウド・サービス」に固有の情報が記載されています。「クラウド・サービス」およびデータ保護機能に関する詳細または説明および条件(お客様の責任を含みます。)がある場合

には、本条に記載されます。お客様が選択したオプションにより、「クラウド・サービス」のお客様による使用に適用される「データ・シート」が複数ある場合があります。「データ・シート」は英語のみの提供となります(現地言語での提供はありません)。現地の法律または慣習の慣行にかかわらず、両当事者は英語を理解していること、および「クラウド・サービス」の取得および使用に関して英語が適切な言語であることに同意します。以下の「データ・シート」が「クラウド・サービス」およびその利用可能なオプションに適用されます。お客様は、i) IBM が、IBM のみの裁量により、「データ・シート」を随時変更することができ、かつ ii) かかる変更された内容が変更前の内容に置き換わることを承諾します。「データ・シート」に対する変更は、i) 既存のコミットメントの改善もしくは明確化、ii) 最新の採用された基準および適用法への整合の維持、または iii) 追加コミットメントの規定のいずれかを行うことを意図しています。「データ・シート」のいかなる変更も「クラウド・サービス」のデータ保護を著しく低下させるものではありません。

適用される「データ・シート」へのリンク:

<https://www.ibm.com/software/reports/compatibility/clarity-reports/report/html/softwareReqsForProduct?deliverableId=1413338838241>

お客様は、「クラウド・サービス」の利用可能なデータ保護機能を注文、有効化、または使用するために必要な対策を講じる責任を負うものとします。お客様がかかる対策を講じることを怠った場合(「コンテンツ」に関するデータ保護またはその他の法的要件を満たさないことも含みます。)には、お客様は「クラウド・サービス」の使用に対して責任を負います。

EU 一般データ保護規則 (EU/2016/679) (GDPR) が「コンテンツ」に含まれる個人データに適用される場合に、その適用範囲に限り、<http://ibm.com/dpa> にある IBM の「データ処理補足契約書」(DPA) および「DPA 別表」が適用され、本契約の一部として参照されます。本「クラウド・サービス」に適用可能な「データ・シート」は「DPA 別表」の位置づけです。DPA が適用される場合、「復処理者」の変更の通知を提供する IBM の義務およびかかる変更に関する異議を申し立てるお客様の権利は、DPA に規定されるとおりに適用されます。

3. サービス・レベル・アグリーメント

IBM は、「PoE」に記載するとおり、「クラウド・サービス」に関して、以下の可用性のサービス・レベル・アグリーメント(以下「SLA」といいます。)を提供します。「SLA」は保証ではありません。「SLA」はお客様にのみ提供され、実稼働環境における使用に対してのみ適用されます。

3.1 可用性クレジット

お客様は、「クラウド・サービス」が利用できず、業務に重大な影響が及んだことを最初に知り得たときから 24 時間以内に、IBM テクニカル・サポート・ヘルプデスクに対して「重要度 1」のサポート・チケットを記録するものとします。お客様は、あらゆる問題診断および解決に関して IBM を合理的な範囲で支援するものとします。

「SLA」の未達を申告するサポート・チケットは、契約月の末日から 3 営業日以内に提出するものとします。有効な「SLA」の申告に対する補償は、「クラウド・サービス」の実稼働システム処理が利用できない時間(以下「ダウンタイム」といいます。)に基づいた「クラウド・サービス」の将来の請求に対するクレジットになります。「ダウンタイム」は、お客様が当該事象を報告した時点から「クラウド・サービス」が復元される時点までの間で計測され、次のものに関連する時間は含まれません。保守のための計画停止または発表された停止、IBM の支配の及ばない原因、お客様または第三者のコンテンツもしくはテクノロジーの問題または設計もしくは指示、サポート対象外のシステム構成およびプラットフォームまたはその他お客様による誤り、またはお客様に起因するセキュリティに関する事故もしくはお客様によるセキュリティ・テスト。IBM は、下表のとおり、各契約月における「クラウド・サービス」の累積的な可用性に基づき、適用しうる最大の補償を適用します。各契約月の補償の合計額は、「クラウド・サービス」に対する年額料金の 12 分の 1 の 10% を超えないものとします。

バンドルされた「クラウド・サービス」の場合(個別の「クラウド・サービス」オファリングをパッケージ化し、単一オファリングとして、単一の合算料金で販売しているもの)、補償は、バンドルされた「クラウド・サービス」に対する 1 つにまとめられた月額料金に基づいて計算されるものであり、各個別「クラウド・サービス」に対する月額サブスクリプション料金に基づいて計算されるものではありません。

ん。お客様は、1つの個別「クラウド・サービス」に関する請求のみ、一度にまとめて提出することができます。

3.2 サービス・レベル

「インバウンド・データ収集」とは、「クラウド・サービス」のインバウンド・データ処理エレメントを介したインバウンド・データの収集をいいます。

| クラウド・サービス | 適用可能なサービス・レベル | |
|--|-----------------------|---------------------------|
| | 「契約月」におけるアプリケーションの可用性 | 「契約月」におけるインバウンド・データ収集の可用性 |
| IBM Digital Analytics | Y | Y |
| IBM Digital Analytics Lifecycle | Y | N |
| IBM Digital Analytics Impression Attribution | Y | Y |
| IBM Digital Analytics Multichannel | Y | N |
| IBM Digital Analytics for Social Media | Y | N |
| IBM LIVEmail | Y | N |
| IBM Digital Analytics Explore | Y | N |
| IBM Digital Analytics Digital Data Feed | Y | N |

「契約月」における「クラウド・サービス」の可用性

| 「契約月」における可用性 | 補償 (申告の対象である「契約月」における「月額サブスクリプション料金」*の割合) |
|--------------|--|
| 99.949% 未満 | 2% |
| 98.999% 未満 | 5% |
| 97.999% 未満 | 12% |
| 97.000% 未満 | 20% |

*「クラウド・サービス」がIBMビジネス・パートナーから取得されたものである場合、月額サブスクリプション料金は、申告の対象である「契約月」に対して有効な「クラウド・サービス」のその時点での最新の表示価格に基づいて計算され、それを50%割引した額となります。IBMは、直接お客様に払い戻します。

「可用性」は、以下のとおり算出されます。契約月における分単位の総時間数から、契約月における「ダウンタイム」の分単位の総時間数を差し引き、それを契約月における分単位の総時間数で除することにより算出され、結果はパーセントで表します。

4. テクニカル・サポート

「クラウド・サービス」のテクニカル・サポートが、電子メール、オンライン・サポート・システム、「ライブ・チャット」および電話を介して提供されます(以下「テクニカル・サポート」といいます)。

IBMのIBM Software as a service support guide (https://www-01.ibm.com/software/support/saas_support_guide.html)には、テクニカル・サポートの連絡先情報ならびにその他情報およびプロセスが規定されています。テクニカル・サポートは「クラウド・サービス」と共に提供されるものであり、別個のオフリングとして提供されるものではありません。

5. エンタイトルメントおよび課金情報

5.1 課金単位

「クラウド・サービス」は、「取引文書」に記載された課金単位に基づいて提供されます。

- 「ミリオン・サーバー・コール (MSC)」は、「クラウド・サービス」を取得する際の課金単位です。「サーバー・コール」とは、1つの「エンティティ ID」で追跡対象の訪問者によって開始されたタグ付きイベントの結果として、「クラウド・サービス」に渡され、「クラウド・サービス」によって処理されるデータをいいます。異なる「エンティティ ID」によって処理される「サーバー・コール」は、固有の「エンティティ ID」ごとに、固有の「サーバー・コール」としてカウントされます。「エンティティ ID」は、「クラウド・サービス」内のデータへのアクセス権の分離もしくは制御、またはその両方を行います。このデータには、1つ以上のお客様の Web サイトからの処理済みデータが含まれることがあります。「MSC」のエンタイトルメントはそれぞれ、100 万件の「サーバー・コール」を表します。「取引文書」に定める課金期間中に処理される「サーバー・コール」の数をカバーするのに十分な「サーバー・コール」のエンタイトルメントを取得しなければならないものとします。
 - 「ミリオン・マーケティング・インプレッション (MMI)」は、「クラウド・サービス」を取得する際の課金単位です。「マーケティング・インプレッション」は、Web ページ上に広告またはバナーが 1 回表示されることをいいます。「MMI」のエンタイトルメントはそれぞれ、「クラウド・サービス」によって収集および処理される 100 万件の「マーケティング・インプレッション」を表します。お客様の「取引文書」に定める課金期間中に処理される「マーケティング・インプレッション」の数をカバーするのに十分な「MMI」のエンタイトルメントを取得しなければならないものとします。
 - 「エンティティ ID」は、「クラウド・サービス」を取得する際の課金単位です。「エンティティ ID」は、「クラウド・サービス」内で表されるエンティティの固有の識別子です。お客様の「取引文書」に定める課金期間中に「クラウド・サービス」によって識別された「エンティティ ID」の数をカバーするのに十分なエンタイトルメントを取得しなければならないものとします。「クラウド・サービス」では、「エンティティ ID」(「クライアント ID」ともいいます。)は、「クラウド・サービス」におけるデータのアクセス権を分離もしくは制御、またはその両方を行います。このデータには 1 つまたはそれ以上の Web サイトからの処理済みデータが含まれることがあります。
- 本「クラウド・サービス」オフアリングでは、「クライアント ID」は、「エンティティ ID」と同一です。
- 「エンゲージメント」は、サービスを取得する際の課金単位です。「エンゲージメント」は、研修イベント、業務分析、成果物に基づくサービス・イベントを含みますがこれらに限られない、プロフェッショナル・サービス、研修サービスまたはその両方のサービスで構成されます。それぞれの「エンゲージメント」をカバーするのに十分なエンタイトルメントを取得しなければならないものとします。

5.2 セットアップ料金

1 回限りのセットアップ料金は、発注された各セットアップ・サービスに対して「取引文書」に記載された料金で請求されます。

オンデマンドセットアップ料金は、発注された場合、サービスに対して「取引文書」に記載された料金で請求されます。

5.3 超過料金

1 月 1 日を開始日とする暦年に基づく四半期内に、お客様による「クラウド・サービス」の実際の使用が、「PoE」または「取引文書」に記載されたエンタイトルメントの 3 倍を超えた場合、お客様は、適用される「PoE」または「取引文書」に記載される超過料金に従い、その超過分についても請求されます。

5.4 オンデマンド料金

「取引文書」に明記されるオンデマンド料金は、お客様がオンデマンド部分のアクティブ化を要求した場合に適用されます。有効化されると、「取引文書」に定める料金に従って、お客様に請求されます。

5.5 リモート・サービス料金

リモート・サービスの料金は、かかるリモート・サービスの「取引文書」に記載された料金で請求され、リモート・サービスが使用されたか否かにかかわらず、購入から 90 日後に満了となります。

5.6 請求頻度

選択された請求頻度に基づき、IBM は請求頻度期間の開始時点で支払い期日の到来している料金をお客様に請求します。ただし、後払いの対象となる超過分や料金の使用タイプは除きます。

6. 期間および更新オプション

「クラウド・サービス」の期間は、「PoE」に記述されるとおり、「クラウド・サービス」へのお客様のアクセスについて、IBM がお客様に通知した日に開始します。「PoE」には、「クラウド・サービス」が自動的に更新されるか、継続利用ベースで続行されるか、期間満了時に終了するかが記載されます。

自動更新の場合には、お客様が期間満了日の少なくとも 90 日前までに書面により更新しないことを通知する場合を除き、「クラウド・サービス」は、「PoE」に定める期間につき自動更新されます。更新には、見積書に記載されたとおりに年次の値上げが適用されます。「クラウド・サービス」の営業活動終了に関する IBM 通知を受領後に自動更新が行われた場合、当該更新期間は、現在の更新終了または発表された営業活動終了日のいずれか早期に到来する日に終了します。

継続利用の場合は、「クラウド・サービス」は、お客様が 90 日前までに書面により終了を通知するまで、月単位で継続利用することができます。「クラウド・サービス」は、かかる 90 日の期間後の暦月末日まで引き続き利用することができます。

7. 追加条件

7.1 共通事項

お客様は、IBM が広報活動またはマーケティングのコミュニケーションにおいて、お客様を「クラウド・サービス」の利用者として公に言及できることに同意します。

お客様は、「クラウド・サービス」を、単体または他のサービスもしくは製品と組み合わせて、高リスク活動、即ち核施設、公共交通システム、航空管制システム、自動車制御システム、兵器システム、または航空機の航行もしくは通信の設計、構築、管理、もしくは保守、または「クラウド・サービス」の障害が生命の危険や重大な人身傷害を引き起こすおそれがあるその他のいかなる活動のサポートのためにも使用しないものとします。

7.2 イネープリング・ソフトウェア

「クラウド・サービス」を使用するには、お客様がご自身のシステムにイネープリング・ソフトウェアをダウンロードする必要があります。イネープリング・ソフトウェアにより、「クラウド・サービス」の使用が促進されます。お客様は、「クラウド・サービス」の利用に関連してのみ、イネープリング・ソフトウェアを使用することができます。イネープリング・ソフトウェアは現状のまま提供されます。

7.3 IBM Digital Analytics Benchmark Service

Benchmarking Services は「クラウド・サービス」の標準サービスの一環ですが、参加するのは任意です。お客様は、「テクニカル・サポート」(cm_support@us.ibm.com) に連絡を取ることで、不参加を選択することができます。IBM は、いずれかの Benchmarking Service を提供するために、サマリー・データとして IBM の単一のお客様について特定の KPI 測定基準を準備、アクセス、処理および分析しなければなりません。当該サマリー・データは参加するすべての IBM のお客様の集計データによるレポートを作成するために使用されます。IBM は、お客様もしくはお客様の製品ブランド、商標、または訪問者を特定する方法で、お客様のサマリー・データを第三者に開示または公表しません。IBM Benchmarking レポートおよびその内容、ならびに集計データは、IBM の資産であり、IBM の機密情報です。

7.4 IBM Digital Analytics テスト・クライアント ID

お客様には、非実稼働環境におけるテストを目的として1つの「クライアント ID」が提供されます（「テスト・クライアント ID」といいます）。お客様は、「テクニカル・サポート」(cm_support@us.ibm.com)に連絡を取ることで、お客様1社ごとに合計で10を上限として、追加の「テスト・クライアント ID」を要求することができます。「テスト・クライアント ID」は、1日あたり100,000の「サーバー・コール」に制限されます。IBMは、1日に100,000を超える「サーバー・コール」を受信した場合は、直ちに「テスト・クライアント ID」でのデータの収集を停止することができます。「テスト・クライアント ID」は、テストのみを目的としているため、有効化される機能は限定され、これらのIDのために収集され、処理されるデータの保存は、最大5週間保持されます。お客様は、IBM Digital Analytics を介して、または限られたバージョンの IBM Digital Analytics Explore を介して、「テスト・クライアント ID」データのレポートにアクセスすることができます。「テスト・クライアント ID」レポートでは、訪問者の登録データは利用できません。次のいずれかが発生した場合は、テスト・レポートは無効化され、すべてのテスト・データは削除されます。(a) 連続する30日間にわたって、「テスト・クライアント ID」にログインするユーザーがいなかった、または (b) 連続する30日間にわたって、「テスト・クライアント ID」にデータが一切送信されなかった。使用されないまま6か月間が経過した場合は、「テスト・クライアント ID」は完全に削除されます。